□連載小説5

キリシタンの墓

小山牧子

え・石阪春生

呪う鳥

あらすじ　佳の母、蘭子は華麗な歌人である。神戸では情熱の歌人として、短歌仲間である男たちとの特別な交情を噂されている。赤人賞を受賞した寺田春暁宅でのパーティで、春暁にからみ泥酔した脇坂葉峰老人が、帰途の蘭子母親の同乗する車を降り闇に消えた。その葉峰の名を叫びながら塩屋の海岸をうろつきまわる蘭子の姿に佳は、あのサルバドル・ダリの絵を見るような凄惨な美しさを感じたのであった。

「ヘイ、ケイ。ユウは今夜、たいそう忙がしいか？」

ゆうぜんとした足どりで自席をはなれ、佳の背後に立ったボスのヒギンズ氏が、佳の肩に両手をおき話しかける。

「ノオ。それほどでも……」

「では、私の夜のエンジョイ（楽しみ）につきあってくれるか？」

「オフコオス（勿論）！」

「グッド！」

ヒギンズ氏は、満足の意を表情にあらわし、佳のそばをはなれた。

ヒギンズ氏は、妻子を本国にのこし、単身赴任してきたエンジニアで、英国人にはめずらしい楽天的人情味ゆたかな男である。日本と日本人が大好きだという彼は日本人従業員に対しても暖かく接することを忘れず、気前がよいし、容貌にはどこか、アメリカの二枚目俳優、ケリイ・グランドに似たしぶ味があるといったふうにならべたててみるならば、エイジェントに勤める女の子たちが、ヒギンズ氏の一挙一動に大さわぎするのも当然のことといえるだろう。事実、女の子たちの中には、ヒギンズ氏の態度いかんで狂いだしかねない連中もいて、彼女

たちは、すぐに物語の中にでてくる女主人公、たとえば蝶々夫人の格調高く様式化された姿と、自分の醜い現実の姿、それに男前のヒギンズ氏をかさねあわせ、うっとりとなり、恋を恋してしまったりするのだが、男の持つ直感でその点を察しているのか、ヒギンズ氏は、なみいる女子従業員に対しては、つとめて事務的な態度で接している。

が、その彼が、異国の夜のつれづれに、佳を誘うのはどういうことなのか。

佳のかんぐるところ、ヒギンズ氏の嗅覚は敏感に佳の内面にすでに育っている強靱な自我をかぎつけていく、他の娘たちには決してないその自我のゆえに、好いたほれたのというややこしい袋小路にもつれこむ危険度の少ない女として、佳を評価しているらしいのである。

それに、佳の神経質そうに暗くかげった目もとや細長い首、人目につく背丈と長いむきだしのスネなどが、エキゾチックな魅力としてヒギンズ氏をひきつけるということもあるかも知れない。

約束をとりつけたあとのヒギンズ氏は、天真爛漫であった。

「ケイ、ツ、ナイト（今夜）！」

自席から合図し、大きく片目をつぶってみせる。そんなふざけ方をするヒギンズ氏であるが、これでいて彼はなかなかの読書家で、東洋哲学に傾倒し、文学書ではラフカディオ・ハーンを愛読しているといった変り者なのである。

市街の北にそびえる山の中腹にあるKクラブのバンド演奏が夜の深まりを告げるように、低くむせぶようなブルースの旋律をかなではじめる。と、階下の客席に坐る佳たちのまわりで、世なれた風貌の男と、よく手入れのゆきとどいた血統正しい愛玩犬に似た感じの女が立ちあがり密着させあった身体をゆすりはじめる。やがて、卓上にともされたキャンドル・ライトに照らされただけの暗い室内に、幾組もの男女が立上り、踊りはじめた。サキソフォンという楽器がかなでる旋律には、人間のおさえてもおさえきれぬ欲情のにおいがする。旋律は、突然生えだした人間の肉の林にまといつき、肉の林は音楽の心につらぬかれ、のけぞったり頬をふれあったりする。

その甘い雰囲気の中で、佳はひとり不機嫌な気分に沈んでいった。

ヒギンズ氏との夜のエンジョイは、男が手の内にあるものをすべて見せつくしたところで終ったようだ。

いつものことであるが、その夜も彼氏は酩酊のはてにポケットから一枚の写真を引っぱりだし、佳に見せた。

「見てくれ、ケイ。私の妻と子供たちだ」

その語調には、あるかなしか自分に言い聞かせているに似た響きがあった。

佳の手に渡された写真には、西欧人にしては小柄なあまりとりえもなさそうな女がほほえんで写っていて、その母親の足もとから、二人の女の子が上目使いに佳をにらんでいる。

「キュート（可愛い）！」

例のごとく、佳はその小供の顔を指さし、お愛想をいってやる。と、急に自分が観衆のいない劇場でたったひとり道化の役を演じているといったやりきれない気分になってしまう。別にヒギンズ氏が好きなわけではない。この英国人と一緒に寝てやろうともくろんでいるわけでもない。が、いまの佳にとって、ヒギンズ氏と過ごす時間が、何にもまして空虚で味気ない。こんなふうにしてつぶす時間ならば、あの母の蘭子と棘さしあって過す時間の方が、まだしもからっとしている。途労だ。すべて

途労だ——。

佳は、何度もグラスの中のコハク色の液体を咽に流しこんだ。強い酒精は、火のように胃の腑で燃え、佳の五体を熱くした。

「わたし、帰る！」

立上った佳の足が少しよろけた。

「ダイジョーブ？」

支えようとするヒギンズ氏の金色の毛におおわれた腕を邪見にはらいのけ、

「さわらないで！」

しっかり気分を引きしめて階段を駆けのぼる。

階上の南側一杯にひらく窓からは市街の夜景が一望のもとに見わたせる。街は、華麗なお花畑に変っていた。かさなりあい蝟集した電飾の灯の群れが、濡れたようにつややかな原色でさざめき、漆黒の闇を背景にした灯の一つひとつが、爛熳と咲き競う花の姿を佳に連想させるのである。

佳は、その夜景を尻目に、闇の戸外にとびだした。

「ケイ、ウエイト・ミニット（ちょっと待て）」

ヒギンズ氏が追ってくる。

クラブの前から、舗装された急な坂道が、巨大な灯の塊りに似た街につきささっている。

佳は、その道をボール玉のように丸くなって駆けおりてゆきたいと思った。逃げたい。あの金色の体毛におおわれた人の善い毛唐から。佳の荒む心とかかわりなく華やかで、快楽の色にさざめく大人たちの世界から。いや、それ以上に、渇仰にうずく自意識過剰な自分自身の猛々しい心から——。

「チキショウ。コンチキショウ！」

佳は、駆けた。燃えたつ地上の灯の輝きに気押されたかのように、空の高みで星々の光りは色あせていた。その星にとどけとばかり立止った佳は、はいていた平底の靴を投げあげる。と、靴は興ざめなほど現実的な音をたてて路面に落ちてくる。佳は靴をそのままに、素足で坂道を駆けおりていった。靴はたぶん、あとから追ってくるヒギンズ氏が持つだろう。常々、

「クレイジイ（気狂い）の時のケイもおもしろい」

などとニヤニヤする異国人の性格を、計算しないでもない佳である。

「ストップ、ケイ。ストップ！」

ヒギンズ氏の長い足も、ケイの若いすばしっこさにはかなわない。で、ヒギンズ氏が佳に追いついたのは、二人が街なみの中に入ってからで、だから佳自身は追いつかれたのではなくて、彼氏の持っている靴が入用になったから、この変り者の異国人を待っていてやったのだと思っている。

「プリース、オジョウサン……」

ふざけきった慇懃さで佳の足に靴をはかせるためにかがみこんだヒギンズ氏を見おろし、

「わたし、今夜は妖情になったみたい……」

唄うようにいう佳の胸から、あの太い棒がつかえているような猛々しい怒りの感情は消えていた。

二人は、両側に異人館がならぶ坂道を下っていった。館たちはすべて灯を消し、森のように静まっている。足下から溯騒のように街のざわめきが伝わってくる。道は、すぐに異人館の一角を抜けた。

街角を曲るたびに、佳はうきうきと心をはずませていった。街角を曲るたびに、海の香が濃く強くにおいはじめるようだ。

いくつ目かの街角を曲ったときであった。人通りの絶えた露路の路傍で、醜い石塊のようにうずくまり動かぬ人の姿に目を止め、佳は立止った。「易」と墨太く書かれたアンドンからさす弱い光りが、うずくまる老婆の亀裂のような顔の皺をうきあがらせている。

「おばあさん。わたし占ってくれるウ？」

「へえ……」

うつうつとした気分のあとにともすればおとずれる軽やかな心の乱舞。佳は、はしゃいでいた。

老婆は、天眼鏡を手にかざし、沼のようによどんだ目でしげしげと佳の顔をのぞきこんだ。
「どうした、ケイ。彼女は、ユウのママさんなのか？」
怪訝そうな顔で、ヒギンズ氏がたずねる。が、それほど不機嫌そうではない。変ったことが好きな変り者の異国人なのである。
「ノオ。わたしは、自分の未来の姿を、いま知ろうとしている」
たどたどしい英語で答える佳に、
「ははん。では、彼女はジプシーイの老婆のような種類の女なのだな」
ヒギンズ氏は、すぐに了解した。
「娘さんよ……」
やがて、乾いたしわぶきを一つしたあと、老婆が丸まった背をたてなおし、できるかぎりの威厳をつくろって話しはじめる。
「あんたは、恐ろしい星を手に握っている。その身内に秘める強い力は、よく使えば百人の男を蘇らせる。しかし、魔性のものに組するとき、お前は必ず殺す。恐ろしい……呪術力を持ったオナゴじゃな……」
「へえ、百人の男をねえ……」

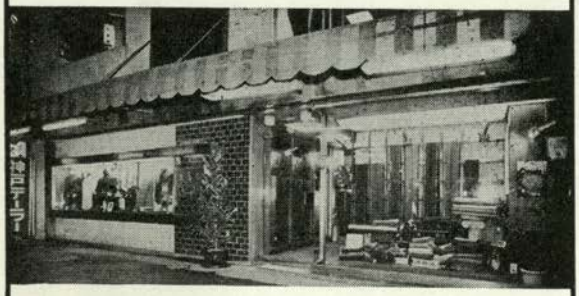
佳は、星くずにおおわれた空を見あげ、甲高く笑った。
「わたしの言葉をちゃらんぽらんに聞いて馬鹿にするととりかえしがつかぬことが起こる」
ふざけ顔をあらためぬケイに、
「今夜は当面、西にむかうな……そこに、お前さんを罪の世界に引きずりこむ悪魔がいる……」
「あらア、西がいけないの？　西にはわたしの家があるわ。だけど、そういえば、西の家には魔法使いがいるわねえ。情熱の歌人蘭子とかという魔法使いがねえ」
「老婆は何といっているのか？」
ヒギンズ氏が、好奇心にわくつく胸の内をあらわにみせてたずねるのである。
「彼女は、わたしに西へ行くなといっている」
「ノオ・ウエスト（西）!?」
「ノオ！」
二人は、頓狂な声をあげて笑った。
「ではケイ。我々はぜひ西へ行かねばならぬ！」
「イヤア、我々は西へ行かねばならぬ」
佳は青ちの悪い娘さながら、ヒギンズ氏の金色の腕に自分の腕をからませ歩きはじめた。
「ゴー・ウエスト（西）！」
振り返ると、立上り見送る老婆の片頬をアンドンの光りが蒼白く浮きあがらせている、露路のくらがりを抜けてゆく二人の頭上で星が奇妙に赤い不吉な光りを放っていた。
〈つづく〉

Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop
フナキヤ
元町3 TEL〈33〉3617

ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！
三恵洋服店
元町4丁目 TEL ㉞ 7290

高級紳士服専門店
神戸テーラー

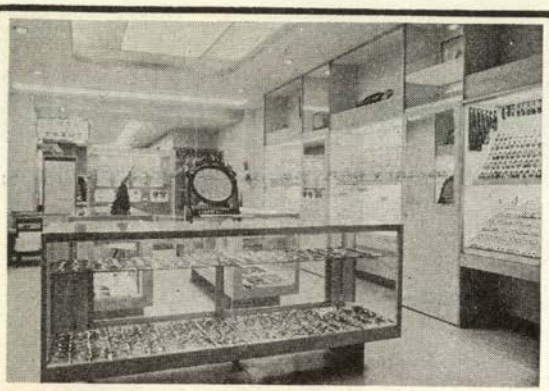


さんちかメンズタウン TEL ㊴0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ㉝2817・3173

MEN'S SHOP
センシュウ

ダンディガイズだけが
語りあえる店！

紳士服飾専門店
千秋屋
元町店 TEL34-6959
メトロ店 TEL34-0550



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

新装開店 **太田鼈甲店**

元町4丁目 TEL㉝6195

瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

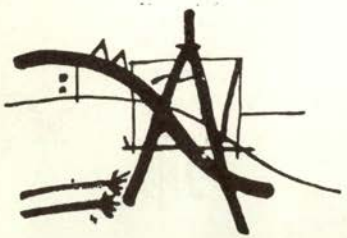
日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
神戸国際会館内 TEL（22）8161・（23）2570

額縁絵画・洋画材料

室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
㉝1309・6234

オリジナル **L** サイズ

草履新発売

創業明治二十五年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札　完全冷暖房
静かに品選びの出来る店
神戸三宮センター街 TEL（39）0256

おもちゃの カメヤ

三宮方面でのお買物は……
さんちか店 ファミリータウン ㊴4045
三宮店 センター街大洋劇場東隣 ㉝4969
元町方面でのお買物は……
元町店 元町通3丁目山側 ㉝0090
パンプウ店 元町通1丁目不二家前 ㊴0768

おまつり

やっぱりうまい
むさしのとんかつ

ヨーベ三宮店
ムサシ

でんわ・33—三七七一
32—〇六三四
32—〇六三五

精肉直営
まるたか

生田区北長狭通1丁目25—1
生田新道ビル地階

TEL (078) 39・8812

おすし
てんぷら
栄浦

本店 大丸前・三宮神社東
TEL ㉝5772
5674
(毎週水曜日休み)
支店 さんちか味ののれん街
TEL ㊴5233

営業時間
A.M.11.30～P.M.9.

スナック

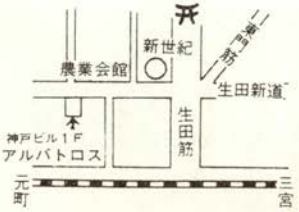
アルバトロス

生田区下山手２—29—１
農業会館前　ＴＥＬ33—9796

"アルバトロス" とは＜あほう鳥＞の意味。ゴルフ愛好者なら誰でも一度はやりたいと思う。バー５のコースを二打でホールアウトすることだ。そういうゴルフ愛好家の憩いの場として、昨年暮れ誕生したスナックが、ゴルファーでもありレーサーでもある戸井千昌さんの開いたスナック **"アルバトロス"** である。

大学時代からゴルフとカーキチのマスターは、Ａ級ライセンスを持ち、５年ほど前に鈴鹿サーキットで活躍した関係で、アマゴルファーの広瀬義兼、安藤孝雄、乾英文、大西久光氏など、またレーサーとしては日産ファクトリーの寺西孝利、蔵森康師氏、ダイハツの矢吹圭造氏、女性レーサーの夏川かおる、堀田順子、星住輝子さんなどもよく出入りしている。

神戸はゴルフ発祥の地。その神戸ビル一階の **"アルバトロス"** は、素人っぽいのが魅力のスナックでもある。



スナック

富　　貴

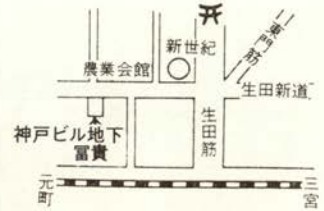
生田区下山手２　神戸ビル地下
ＴＥＬ　39—8739

そばの味に親しい人なら、元町３丁目場外馬券売場横の **"富貴そば"** を御存知のはずだ。土、日曜は、馬のお客さんで賑わい、平日は、客筋のいい通で賑わう。

その店を始めた二人姉妹の姉さんの篠木映子さんが、この７月11日に、神戸ビル地下に開いたのが、その名もスナック **"富貴"**。

元町の **"富貴そば"** が７時に閉めるので、その延長として和風のイメージを豊かにしたのが、こちらの **"富貴"** である。そうめん、お茶漬はもちろん、鍋もの、鍋焼きうどんなどを出して、食事のできる憩いの場としての雰囲気を持っている。ママが言葉にこまらないから国際的な客も多く、神戸らしいムードと会話がエトランゼと楽しめるチャンスもある。

ビール ¥250　ウイスキーミニチュア（Ｗ）¥650　年中無休。
営業時間　ＰＭ５：30～12：00



連載小説〈8〉

曲線ハイウエイ

武田繁太郎
え・横塚繁

★あらすじ　浜名湖北岸の小さな岬のうえに建てられた浜名湖サービス・エリアで、多木洋介は艶のある薄い小麦色の肌をした若い神戸の女性、宇津康子を知る。黒いルーフレザーに黄色い車体のMVハードトップを駆ってのドライブに暮色が漂いはじめた頃、多木は康子とともに館山寺湖畔のホテルに入る。

ほのかな月明りに、遠くの湖面がぼんやりと銀色に光る中で、康子は、ふっと肩で秘めやかな吐息をもらして多木のなせるままに崩れていった。ふたつの身体は快楽の忘我に浸っていった。それから十日ほどたった日の朝、康子から電話があった。一夜のアバンチュールかと思いこんでいった多木は、心していっきに浜名湖SAに向ってMVをとばした。

「今朝は、電話ありがとう。だけど、あの電話、ちょっと驚かされたな」

多木は、自分もテラスの椅子に対いあいながらいった

「どうして？」

「正直いって、君からの電話は、もうあきらめていたからな」

「じゃ、電話して、わるかった？」

「いや。よかったよ。ぼくのカンがはずれて。ぼくは、このごろ、なんでもわるいほうにカンがはたらく」

いいながら、多木は、康子がそろえた膝のうえに、しゃれた形の小さなバスケットをおいているのに気づいた

「ああ、これ？」

康子も、多木の視線に気づいて、バスケットのふたをあけながらいった。

「サンドイッチをつくってきたのよ。このレストラン、おいしくないでしょう」
「うむ。うまくないな」
多木も、うなづいた。
いったいに、サービスエリアのレストランは、料理がまずかった。この浜名湖のレストランも例外ではない。名物のうなぎ弁当も、多木は、いちど食べてみたが、腹が立つほどひどいものだった。
東名、名神のたいていのサービスエリアをのぞいてみて、まずまず合格だと多木に思えたのは、東京にちかい海老名サービスエリアのカレーライスぐらいであった。これは、値段のわりには、味も吟味してあり、量もたっぷりあった。
サービスエリアのレストランは、どこも、大手の会社が経営していた。この浜名湖も、各社が争奪戦を演じたあげく、K鉄が経営権を獲得した。独占事業である。競争相手がいない。どんなに料理がまずくとも、客たちは一軒しかないレストランで食事を摂るよりほかはなかった。評判のよくない新幹線のビュッフェと同様である。
康子が、わざわざ手作りのサンドイッチを持ってきたのも、だから、それなりに理由があったといえたろう。
「神戸はミナト街で、昔から外人が多いでしょう。だから、おいしいパンやハムを売ってる店が多いのよ。東京からきた人でも、帰るときには、わざわざパンやハムを買っていく人が多いわ」
康子は、自分の街を自慢するように言ったが、多木も神戸は食べもののうまい街だということは、以前からきいていた。
しかし、この女が、男と自分の夕食がわりに、わざわざサンドイッチを作ってきたということは、予想もしなかった驚きであった。それは、家庭料理や手作りの味にひさしく遠ざかっていた多木にとっては、うれしい驚きでもあった。
「召しあがらない？」
康子は、バスケットからナフキンをとりだしながらいった。
「そうだな。じゃ、コーラでも飲もうか」
多木は、レストランの売店へひと走り、でかけていった。
二人は、テラスのテーブルで、サンドイッチをつまみあった。たしかに、康子が自慢するだけあって、多木にも、彼女の作ったサンドイッチは、パンもハムも、東京のものよりもずっとうまいように思えた。
「ハムもうまいけど、この鮭の燻製もいい味をしてるな」
多木は、鮭のサンドイッチがわけても気にいった。薄切りにした半ばすきとおったような煉瓦色の鮭のなめらかな舌ざわりが、弾力のあるパンの味によくマッチしていた。
「やっぱり、サンドイッチつくってきてよかったわね」
康子も、まんざらでもない面持ちでいった。
二人でバスケットの中味をほとんどカラにしたころ、あたりはもうすっかり夜の闇につつまれていた。暗い湖面には、漁火のような灯が、点々と浮んでいた。
「今夜は、どんなコース？」
康子が、ハンドバッグの鏡で、唇をなおしながらたずねた。
「朝霧高原へいってみようか」
多木は、さいしょからその心づもりだったようにいった。
「君はあの高原へいったことある？」
「あの辺は知らないわ」
「じゃ、ぜひ君にみせたいな。すてきな高原だよ」
「泊りは？」
「東京で、山中湖のMホテルに予約しておいたよ。朝霧高原から、富士の北側をまわって、山中湖へでよう」
「いいわ」
康子は、夜の唇に、やや濃い目のルージュを彩りなが

らうなづいた。

富士の西麓にひろがっている朝霧高原へいくには、上り線で、富士インターチェンジまでひきかえさなくてはならない。

東京発の多木の車は、下り線の駐車場にとってあり、反対に、西宮発の康子の車は、上り線のほうだった。多木の車は駐車場においたまま、康子の車でかけることにした。

「運転はぼくがしよう」

どちらの車も、黄色いボディに、黒いルーフレザーのMVハードトップだった。康子の車でも、多木には、自分の車を運転しているようなものである。

多木がハンドルを握り、助手席に持主の康子を乗せた

MVは、夜のハイウェイにすべりだした。

このあたり、車はかなり混んでいた。追い抜き線を、明滅するウインカーの赤い灯の群れが流れていく。

多木も、くるときに負けず、MVをダッシュさせた。快適なスピード感が、心よいクッションをとおして、二人の身体につたわってくる。

康子が、無言のまま、カーステレオをかけた。甘いムード・ミュージックが、ソフトな旋律を流しだした。

康子は、しばらく、ヘッドレスに頭をもたせかけたまま、ステレオのメロディにききほれたように、うっとりと目をとじていた。

そのうち、彼女の手がそっとのびて、チェンジレバーを握っている多木の手のうえに重ねられた。バラの香に似た香水の匂いが、ほのかに、多木の鼻にただよってきた。

多木は、康子の手に重ねられた手を、チェンジレバーからはずすと、そのまま、康子のスラックスの片膝のうえに這わせた。薄いスラックスの下で、弾みのあるももが、もうかすかに波だっているようであった。

女性の肉体は、男性のそれにくらべて、〝揺れるもの〟に弱いという。むろん、車にたいしても、女体の生理は堅固ではなかった。女性の腰部にある性感覚中枢が、車の振動によって、われ知らず刺激されるのであろう。

それに、いまはもう、男と二人きりのナイト・ドライブだった。疾走する鋼鉄の密室のなかで、男と二人きりだという秘密めいた欣びが、いっそう、女性のセクシーな興奮をあおっていく。

康子の彫りのふかい顔も、しだいに両の頬がぽっと上気していた。康子は、多木の左の肩に手をおき、その肩先きに上気した頬をよせて、また、うっとりと目をとじた。

浜名湖から富士ICまで、一時間ちょっとの距離だった。MVは、富士ICをでると、国道一三九号線を一路北上した。

途中、富士宮市内を抜けて、白糸の滝までくると、これから先きが、朝霧高原のなかを一直線によぎる富士宮有料道路だった。

このあたりまでくると、往き交う車の影は、ほとんど姿を消していた。なだらかな傾斜で、東から西にかたむいているいちめんのカヤの高原のなかを、無人のハイウエイは、どこまでもつづいていた。

月がでていた。高原の東のはずれに、純白の雪をかぶった富士の全貌が、ほのじろい月光に輝き、車窓いっぱいに迫ってみえた。

「すてき！」

しのびこんでくる冷えた夜気に、康子は、むせぶように胸を弾ませながらつぶやいた。

「この辺で、ひと休みしようか」

「ええ、ゆっくりと富士をながめたいわ」

ちょうど富士宮道路の中間にある猪之頭あたりまできたとき、多木は、行手の間道の一本から、カヤの茂った高原のなかに車を乗りいれた。

車をとめると、夜の闇が、ハイウエイから完全に車の姿をかくしてくれた。

富士にむかって停車した車のフロント・ガラスが、ワイドスクリーンのように、ほのかな月光に濡れた白い富士の姿を浮びあがらせた。

「こんなにまぢかに、夜の富士をみるのは、はじめてよ」

「なんどみても、あきないよ」

そういったまま、二人は、声を呑んで、じっと富士の美しさに見ほれていった。

いつのまにか、二人は、たがいの身体をよせあい、たがいの腕を相手の身体にからませて、しっかり抱きあっていた。

秀麗な富士のたたずまいが、二人を感動させ、二人の愛の火を燃えあがらせたのかも知れなかった。

「すてきだわ――」

その一瞬の幸福に酔ったように、康子は、多木の顔を仰いでいった。浜名湖からのナイト・ドライブのムードが、もう十分、康子の身体をあつくしているようであった。

多木も、燃えていた。彼は、運転席のシートをうしろへいっぱいにさげると、横抱きに、康子の身体をひきよせていた。

（つづく）

★神戸の催物9月ご案内★

＜音楽＞

★いしだあゆみショー
9月1日（火）3：00、6：30PM　神戸国際会館
曲目／ブルーライトヨコハマ、あなたならどうする、他
S¥1,200　A¥1,000　B¥700　新聞会館主催

★名曲シリーズ「運命交響曲」
9月9日（水）7：00PM　神戸国際会館
指揮／朝比奈　隆
演奏／大阪フィルハーモニー交響楽団
民音9月例会　会費¥800

★国際ジュニア・コンサート
9月19日（土）2：00PM　神戸国際会館
入場料¥250　神戸国際会館主催

★ハービーマン五重奏団
9月21日（月）6：30PM　神戸国際会館
曲目／カミンホームベイビー、メンフィス、アンダーグラウンドほか
民音9月例会　会費¥950

★菅原洋一リサイタル
9月22日（火）6：30PM　神戸国際会館
曲目／知りたくないの、奥さまお手をどうぞ、誰もいない、今日でお別れ、他
民音9月例会　会費¥650

★ベートーベン生誕200年記念映画
9月28日（月）6：00PM　神戸国際会館
曲目／交響曲第5番「運命」　交響曲第6番「田園」
A¥1,000　B¥700　学生¥500　神戸新聞会館主催

★原信夫とシャープス&フラッツ
9月29日（火）6：30PM　神戸国際会館
唄／和田アキコ、ビート・マック・ジュニア
尺八／山本邦山
神戸労音9月例会　会費¥780

＜演劇＞

★俳優座公演「冒険・藤堂作右衛門の」
9月16・17・18日　毎夕6：15　神戸国際会館
作・演出／田中千禾夫
キャスト／東野英治郎、高山真樹、新田勝江、栗原小巻
神戸労演9月例会　会費¥650

栗原小巻

＜演芸＞

★やすし・きよし第2回リサイタル
9月5日（土）3：00、6：00PM　神戸国際会館
指定席¥700　自由席¥550　新聞会館主催

愛読者サロン

★小生、幼年時代から住み慣れたミナト・神戸を離れて三ケ月、緑の山々、青い海、とてもステキな町コウベがなつかしい毎日です。高校時代に愛読していた「神戸っ子」を、こちらでも読みたいと思っています。
∧東京・長谷川幸男∨

★神戸が大好きなハマッ子です。数年前から暇を見つけては、一年に二～三回位づつ神戸へ出かけておりましたが、貴誌のことは、先日岡山まで出かけた折に初めて知りました。これからは、「神戸っ子」で神戸を知ることができ、大変楽しみです。
∧横浜・田村恵美子∨

★海と山にかこまれた神戸の街、私のまち小豆島も海にかこまれ、山と接して、今は海も山も若ものもので燃えたぎっています。八月号はフレッシュな若もの44の心情等もバラエティーに富んでいて楽しく読ませていただきました。

時々は友達の家に泊り込みグループで神戸の街をショッピングしたり食事したりが大好きな私にとって〝神戸っ子〟は手離すことができません。
∧小豆島・田中孝子∨

★赤い灯、青い灯チラチラと、夜の神戸は三宮、行き交うアベック、酔っぱらい。さてと今夜もあてもなく何処へ行こうかこれから一人。ブラッとのぞいたスナックに粋な表紙の「神戸っ子」。これが小生と「神戸っ子」とのなれそめである。田舎出のサラリーマン一年生。この夜の出合いの心強さ。以来、すっかり「神戸っ子」の虜になってしまった次第。さて今夜は……と思う前にまずは「神戸っ子」をひらげるこの頃なのだ。

貴社のますますの御発展を祈る。
∧六甲・服家　修∨

発行にいろいろお世話いただいた方がた

安部正夫　朝比奈隆　小林磯良　小林芳平　竹津高馬　和之助一
浅田長平　荒木重晃　青野仁雄　砂野豊彦　乾信一　石野成明　井上文左衛門　石榑牛尾　上田並雄　岡部伊都子　岡崎真吉　岡崎朗一　小曽根真造　小泉康夫　小林泉徳雄　小林秀二　後藤英一　坂本喜楽　阪口千昌之介　古林勝雄　白川部　雀谷秀雄　新路義民　塩田重猛　砂南孝　竜川勝二　滝川清一　滝田郁夫　竹村寛次　角宮虎彦　南中孝之介　中井健一　猛重義秀　雄渥　昌之介　雄　勝楽　末英二　徳雄一　直外島健吉　木太一郎　外村宮上地正二郎　宮崎辰雄　松井高男　福深水　芳惣泰　冨専一郎　原畑　原野口沢　南中部圭　中西巻脇　西村親弘　竹馬準之助　高和一
神戸青年会議所　山口泰弘　若杉慧　百崎雄　行吉哉女　襄二　忠次郎　幸二郎　三勝

編集後記

★世界のショッピング街と神戸のショッピング街とを対比しての座談会で忌憚のない話をして頂き、ほんものの町づくりは何かを把握して、神戸のショッピング街を生き生きと息づかせる方向づけをして行きたいもの。金もうけにプラスアルファがなければ神戸の特色はでないプラスアルファの町づくりをぜひ！
∧小泉康夫∨

★ニューヨークを見習ってのオアシスロードが神戸にも八月二日の日曜日から始った。大丸前にカラーチョークで喜々としてニャロメを描く子供たち。忘れていた人間性をとりもどそうよ／ニャロメ万才／

★結婚特集のモデルのお嬢さんは皆素人の初々しい方ばかり。ほんとにお嫁に行く時は、悲しいけど、モデルだったらきれいネと楽しめるからとお母さん。ご協力ありがとうございました。
∧小泉美喜子∨

★酷暑。神戸っ子の男性は、男らしくなるために涙ぐましい努力をした男を生きる！　これが合言葉だ。鳥取の浦富で、淡路の由良で、男臭さを取り戻す。鬱の男、チャールズブロンソンの再来だ。∧岡本男∨

★都市対抗野球で三菱重工神戸が、白鷺子旗を獲得した事はいうまでもないが、仕事と練習を両立させた努力、そこにタフな男達を見た。私もそうでありたい。
∧N・こうじ∨

★あの人のことはもういわないの（コピーのつくりすぎ）。結婚、結婚、ああ（ため息）結婚——とても自分の方まで手がまわらず、早朝、早朝の撮影でネムタイ八月でした
∧高田明子∨

★5時30分に起きるなんて……ベニヤ撮影。モデルのみやちゃんと一生懸命山へ登って、途中できれいな花をつんでステキなPHOTOを創るんです。
∧こいずみあきこ∨

★見慣れぬ言葉に頬を赤く染めたのはついこの間のこと。今では「ショット・ショット」「恋愛入門」のモーレツなるお話で、顔色を変えることもなくなりました
∧クボヨシコ∨

神戸っ子こあんない

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室あてにお申込み下さい。さっそくお送りします。

6カ月分　六五〇円
1年分　一三〇〇円（送料共）

★月刊神戸っ子に紹介されている、神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして神戸っ子がおかれています。

★月刊の神戸っ子をお買求めの時には左の本屋さんへどうぞ。

コウベブックス　さんちかタウン
漢口堂三宮店　京町筋
流泉書房　センター街
文洋堂　新聞会館1階
日東堂　大丸前
海文堂　元町通3丁目
宝文堂　元町通5丁目
甲南堂　国鉄本山駅北口
宝盛堂　阪神御影駅南側
小原光文堂　国鉄住吉駅北口
隆司書房　新開地本通り
文進堂書店　垂水銀座通り
木村書店　明石市桜町
神戸書林　板宿バス停前

★月刊神戸っ子に広告を掲載をご希望のかたは月刊神戸っ子編集室へお申し込みください。

★神戸百店会の事務局も月刊神戸っ子編集室内にあります。

★発行／昭和45年9月1日
★編集・発行／小泉康夫
★発行所・神戸っ子編集室
神戸市葺合区八幡通5ノ96
K・Eビル4階
電話㉒7037・8072
頒価・100円

神戸のうまいもんとドリンキング

★日本料理

阿なご寿司 **青　辰**
神戸市生田区元町通３－184
TEL 33－3435

讃岐名代うどん **あ　こ　や　亭**
神戸市葺合区旗塚通７－５
TEL 23－6300

和　食 **く　れ　な　い**
神戸市生田区北長狭通１－38
TEL 33－0494

かっぽう **古　紋**
神戸市生田区花隈町45
TEL 34－0240

鍋もの・おむすび・お茶漬・炉ばた **悟　味　酉**
神戸市生田区北長狭通１の20　TEL33－3848
三宮さんちかタウン　TEL39－5319

お茶漬・おむすび・鍋もの **ふ　る　里**
神戸市生田区北長狭通２の１
TEL 33－5535

たこ焼 **た　ち　ば　な**
三宮センター街(旧柳筋)　TEL 33－0572

御食事処 **め　ば　え**
生田区下山手通２丁目31
TEL 33－6792

料　亭 **大　し　ま**
葺合区熊内町６丁目39の６
TEL 22－1360・1945

割　烹 **喜　久　重**
生田区元町通２丁目82
TEL 33－1915・39－3385

★西洋料理

レストラン ティーパーラー **ア　ポ　ロ　ン**
神戸市葺合区八幡通５丁目６
TEL 25－3231

レストラン 関農農 **川〈あらかわ〉**
神戸市生田区中山手２－９
TEL 22－8547，23－3315

純フランス料理 **エ　ス　カ　ル　ゴ**
神戸市生田区三宮町１－22
三宮センター街裏　TEL 33－5034

グリル サパー **カ　ル　ム**
神戸市生田区北長狭通３丁目５番地
トアロード　アーバンビル２階TEL 39－4805

レストラン **男　爵**
神戸市生田区中山手１－18
山手第一ビル１F TEL 24－0778

レストラン **花　屋　敷**
三宮フラワーロード市役所前
TEL 25－2109

鉄板グリル **き　ゃ　ん　ど　る**
神戸市生田区北長狭通２－22
TEL 33－1183

レストラン **キングスアームス**
神戸市葺合区磯辺通４－61
TEL 22－3774

グリル **ケ　ー　ン　ズ**
東店　生田東門筋　TEL39－0159
西店　農業会館西下ル　39－3212

レストラン コーヒー **シャトーブリアン**
神戸市生田区北長狭通３丁目５番地
トアロード　アーバンビル地階TEL 33－2050

レストラン&サパー **サン・ジュリアン**
神戸市生田区栄町２丁目11　阪神元町駅西口浜側
TEL（33）9533　100米桜荘地下

グリル・鉄板焼 **月**
神戸市生田区北長狭通１－24
生田神社前TEL 33－2509

レストラン **テキサスターバン**
神戸市葺合区八幡通５－95
神戸市役所前TEL 22－7139

イタリア料理 **ド　ン　ナ　ロ　イ　ヤ**
神戸市生田区明石町32
明海ビル地階　TEL33－7158

レストラン **ハ　イ　ウ　ェ　イ**
神戸市生田区下山手２－20
TEL 33－7622

ピツアハウス **ピ　ノ　ッ　キ　オ**
神戸市生田区中山手２－101
TEL 33－3545

レストラン **フ　ッ　ク　東　店**
神戸市生田区栄町１－５－３
TEL 32－3207

グリル **ブ　ー　ン**
神戸市生田区北長狭通３－５
TEL 39－1514，33－0694

レストラン **ミリオナークラブ**
生田区山本通２丁目50の２
レストラン　23－9393～３
メンバーズ　22－1162

ステーキハウス **れ　ん　が　亭**
神戸市生田区下山手通２丁目34
TEL 33－7168

★喫茶

フォーク ウエスタン **ロ　ー　ス　ト　シ　テ　ィ**
神戸市生田区三宮町３丁目22
TEL 33－3770

宮水のコーヒー **にしむら珈琲店**
中山手店・神戸市生田区中山手通１丁目70
TEL22－1872，23－9524
センター街店・神戸市生田区三宮町２丁目３５
TEL39－0669

modern Jazz & Coffee **さ　り　げ　な　く**
生田区北長狭２－22　TEL 33－9762

★CLUB & BAR

くらぶ **阿　似　子**
神戸市生田区中山手２丁目89
TEL 33－6069

club **飛　鳥**
神戸市生田区中山手１丁目117
TEL 33－7627

club **S〈エ　ス〉**
神戸市生田区下山手通２丁目６
TEL 33－2406・33－8993

エ　ド　ワ　ー　ズ　倶　楽　部
神戸市生田区北長狭通１丁目28
ホワイトローズビル５・６F 生田新道 TEL 39－3300

club **オ　ナ　シ　ス**
神戸市生田区中山手通１丁目
日源ビル２F TEL32－3520

club **K O T O B U K I**
神戸市生田区三宮町２丁目26
三宮本通り TEL33－1875

club **小　万**
神戸市生田区東門筋中島ビル３F
TEL 39－0638，4386

club **さ　ち**
神戸市生田区中山手通２丁目75
TEL 33－7120

クラブ **ジ　ャ　ル　ダ　ン**
神戸市生田区中山手通１丁目111
TEL 33－8589

クラブ **ブ　ル　ー　リ　ボ　ン**
生田区下山手通１丁目５
TEL 33－4558

club **ル　イ　ス**
神戸市生田区下山手通２丁目29
コーベビル地下TEL 39－5065

クラブ **鈴**
生田区中山手１丁目111　TEL 33－2403

club **な　ぎ　さ**
神戸市生田区中山手通１丁目111　TEL 33－8626

club **藤〈ふ　き〉**
神戸市生田区下山手通２丁目　TEL 39－1515

くらぶ **ぶ　ー　げ　ん**
神戸市生田区北長狭通１－38
生田新道　TEL 33－8593

club BAR **Moon Light**
神戸市生田区北長狭通１丁目24
TEL 33－0886・39－2696

クラブ **る　ふ　ら　ん**
神戸市生田区北長狭通１丁目53　TEL 33－2854

クラブ **ヤ　ン　グ　ベ　ル**
神戸市生田区中山手通２丁目89
光ビル１階　TEL 33－3052

★STAND & SNACK

スタンド **英　国　屋**
生田区下山手通２－６　相互タクシー横
TEL 33－1100　33－6600

スナック **エ　ル　ソ　タ　ノ**
神戸市生田区下山手通　TEL 33－6620

スタンド **人　魚**
生田区中山手１－240　TEL 33－3756

スタンド **グ　ラ　ム　ー　ル**
生田筋岸ビル地階　TEL 33－4637

スタンド **マシュ・ケ・ナダ**
神戸市生田区下山手２　TEL 33・5587

おとぎの国 **ぴ　ー　た　ー　ぱ　ん**
神戸市生田区北長狭通２丁目１
金剛山南角　TEL 32－1380

スナックバー **リ　チ　ャ　ー　ド**
神戸市生田区山本通１丁目９
小寺マンション１F TEL 24－3041

スタンド **さ　り　げ　な　く**
生田区下山手通２丁目31
生田筋上高地西入る TEL33－3714

グラタン小屋 **５　つ　の　銅　貨**
神戸市生田区北長狭通２－14
金剛山西入ル　TEL 39－1438

スナック **ビ　ジ　ー　ビ　ー**
神戸市生田区中山手２丁目　TEL 39－4582

スタンド **京　子**
生田区中山手１丁目91サッポロ西隣２F
TEL 33－6635

洋酒の店 **キ　ャ　ン　テ　ィ**
神戸市生田区北長狭通２丁目３
TEL 39－3060・39－3010

DRINK SNACK **スネカジリッ子**
神戸市生田区下山手通２丁目
永晃ビルB１ TEL 39－8708

スタンド **勢　津**
神戸市生田区下山手通１－５
ゼウス街　TFL 39－0516

素舌洞 **で　っ　さ　ん**
神戸市生田区北長狭通１丁目258
三宮映劇山入るTEL 33－6778

STAND **ア　ト　ラ　ス**
生田区中山手通１丁目95
TEL 33－5433

プレイスナック **バ　レ　ン　タ　イ　ン**
神戸市生田区中山手通２丁目101
大洋ビル２階 TEL32－2967

STAND **F A N F A N**
神戸市生田区下山手通２丁目29
TEL 39－1410

縁のワインルーム **み　か　げ**
神戸市生田区中山手通１－12
東門筋入 TEL39－3688

night cap **む　ら　か　み**
神戸市生田区加納町４丁目
但馬銀行北小路入 TEL39－2616

スタンド **クラブ・ガーデニア**
神戸市生田区中山手通１丁目115
東門筋中島ビル２F・TEL 39－3329

SNACK **山　の　手**
神戸市生田区中山手通１丁目
ソネビル１F TEL22－3637

スタンド **ば　ん　ぶ　ー**
生田区下山手通１丁目６の５
東新ビル地階 TEL 39－8734

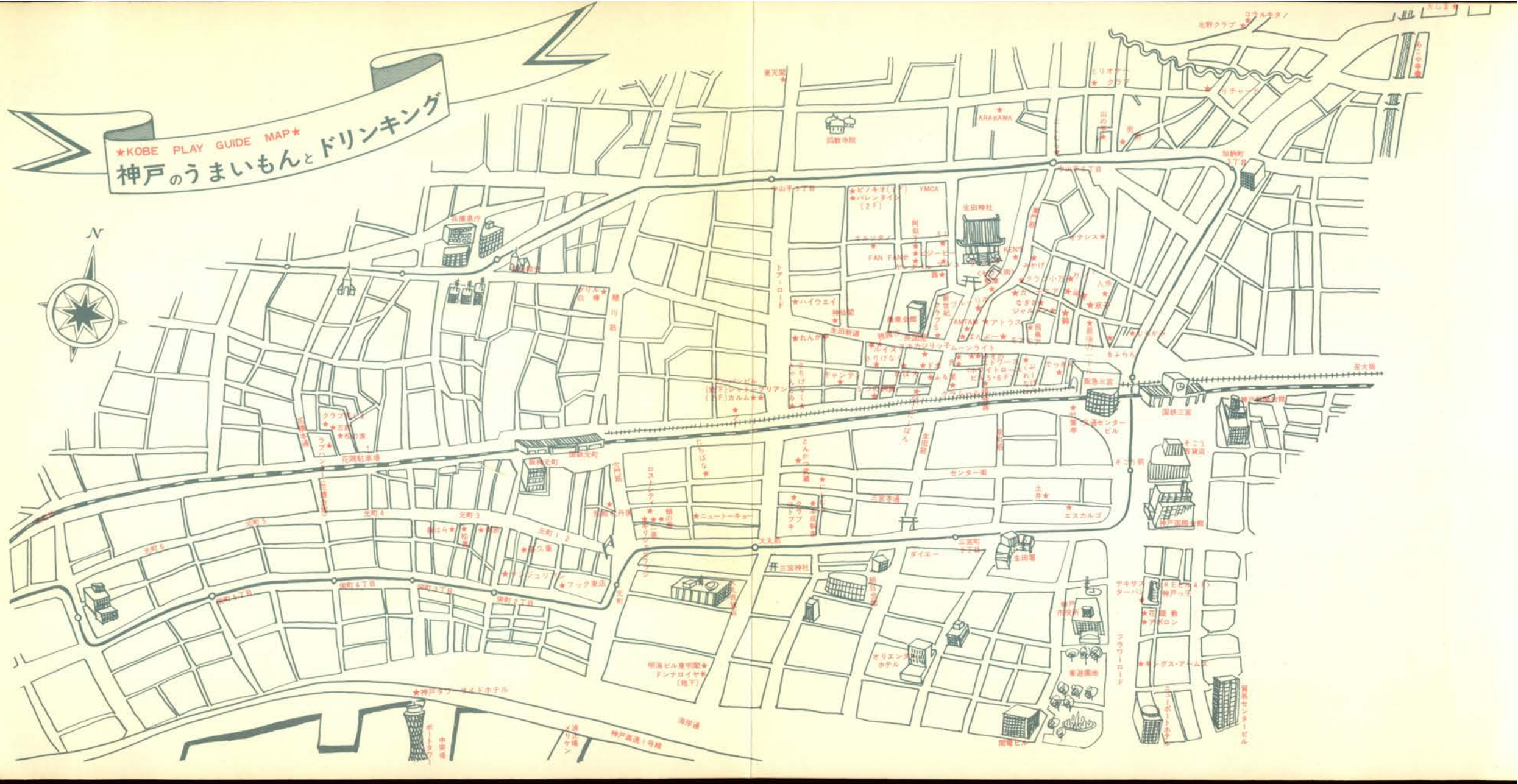
淳子の店 **娑　羅**（SARA）
生田区中山手１丁目91
TEL 39－1647

スナック **K E N T**
神戸市生田区中山手通１丁目91
TEL 33－9391

すなっく **雅　羅　沙**
神戸市生田区下山手通２－29
神戸ビル1F TEL 39－8894

snack **MORE MORE**
神戸市生田区中山手通１丁目107
TEL 33－4728

レストラン・バー **最後の１ドル**
神戸市生田区北長狭通１丁目
チエリービル３F
三宮生田新道山側 TEL 39－2173


★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもんとドリンキング
N
兵庫県庁
神戸市役所
生田神社
YMCA
ハイウエイ
トア・ロード
生田新道
センター街
三宮本通
三宮神社
元町
大丸前
海岸通
神戸高速1号線
神戸タワーサイドホテル
ポートタワー
中突堤
メリケンパーク
明海ビル東明閣★ドンナロイヤ★(地下)
オリエンタルホテル
東遊園地
フラワーロード
神戸国際会館
神戸ポートピアホテル
ANAクラウンプラザホテル神戸
ポートピアホテル
阪急三宮
国鉄三宮
三宮センタービル
交通センタービル
神戸阪急
そごう
大丸
ダイエー
生田署
神戸税関
神戸海洋気象台
神戸地方裁判所
神戸地方検察庁
神戸地方法務局
神戸市立中央体育館
神戸市立生田小学校
神戸市立神戸高等学校
神戸市立神戸商業高等学校
神戸市立神戸女子商業高等学校
神戸市立神戸工業高等学校
神戸市立神戸中学校
神戸市立神戸女子中学校
神戸市立神戸小学校
神戸市立神戸女子小学校
神戸市立神戸幼稚園
神戸市立神戸女子幼稚園
神戸市立神戸保育所
神戸市立神戸女子保育所
神戸市立神戸児童館
神戸市立神戸女子児童館
神戸市立神戸老人福祉センター
神戸市立神戸女子老人福祉センター
神戸市立神戸障害者福祉センター
神戸市立神戸女子障害者福祉センター
神戸市立神戸母子福祉センター
神戸市立神戸女子母子福祉センター
神戸市立神戸青少年センター
神戸市立神戸女子青少年センター
神戸市立神戸勤労者センター
神戸市立神戸女子勤労者センター
神戸市立神戸婦人センター
神戸市立神戸女子婦人センター
神戸市立神戸図書館
神戸市立神戸女子図書館
神戸市立神戸博物館
神戸市立神戸女子博物館
神戸市立神戸美術館
神戸市立神戸女子美術館
神戸市立神戸音楽堂
神戸市立神戸女子音楽堂
神戸市立神戸劇場
神戸市立神戸女子劇場
神戸市立神戸映画館
神戸市立神戸女子映画館
神戸市立神戸テレビ局
神戸市立神戸女子テレビ局
神戸市立神戸ラジオ局
神戸市立神戸女子ラジオ局
神戸市立神戸新聞社
神戸市立神戸女子新聞社
神戸市立神戸出版社
神戸市立神戸女子出版社
神戸市立神戸印刷所
神戸市立神戸女子印刷所
神戸市立神戸製本所
神戸市立神戸女子製本所
神戸市立神戸紙工所
神戸市立神戸女子紙工所
神戸市立神戸文具店
神戸市立神戸女子文具店
神戸市立神戸書店
神戸市立神戸女子書店
神戸市立神戸古書店
神戸市立神戸女子古書店
神戸市立神戸新刊書店
神戸市立神戸女子新刊書店
神戸市立神戸雑誌店
神戸市立神戸女子雑誌店
神戸市立神戸漫画店
神戸市立神戸女子漫画店
神戸市立神戸絵本店
神戸市立神戸女子絵本店
神戸市立神戸児童書店
神戸市立神戸女子児童書店
神戸市立神戸学術書店
神戸市立神戸女子学術書店
神戸市立神戸専門書店
神戸市立神戸女子専門書店
神戸市立神戸百貨店
神戸市立神戸女子百貨店
神戸市立神戸デパート
神戸市立神戸女子デパート
神戸市立神戸スーパーマーケット
神戸市立神戸女子スーパーマーケット
神戸市立神戸コンビニエンスストア
神戸市立神戸女子コンビニエンスストア
神戸市立神戸ドラッグストア
神戸市立神戸女子ドラッグストア
神戸市立神戸ホームセンター
神戸市立神戸女子ホームセンター
神戸市立神戸ディスカウントストア
神戸市立神戸女子ディスカウントストア
神戸市立神戸アウトレットモール
神戸市立神戸女子アウトレットモール
神戸市立神戸ショッピングセンター
神戸市立神戸女子ショッピングセンター
神戸市立神戸ショッピングモール
神戸市立神戸女子ショッピングモール
神戸市立神戸ショッピングアーケード
神戸市立神戸女子ショッピングアーケード
神戸市立神戸ショッピングストリート
神戸市立神戸女子ショッピングストリート
神戸市立神戸ショッピングロード
神戸市立神戸女子ショッピングロード
神戸市立神戸ショッピングエリア
神戸市立神戸女子ショッピングエリア
神戸市立神戸ショッピングゾーン
神戸市立神戸女子ショッピングゾーン
神戸市立神戸ショッピングタウン
神戸市立神戸女子ショッピングタウン
神戸市立神戸ショッピングシティ
神戸市立神戸女子ショッピングシティ
神戸市立神戸ショッピングビレッジ
神戸市立神戸女子ショッピングビレッジ
神戸市立神戸ショッピングパーク
神戸市立神戸女子ショッピングパーク
神戸市立神戸ショッピングガーデン
神戸市立神戸女子ショッピングガーデン
神戸市立神戸ショッピングプラザ
神戸市立神戸女子ショッピングプラザ
神戸市立神戸ショッピングセンター
神戸市立神戸女子ショッピングセンター
神戸市立神戸ショッピングモール
神戸市立神戸女子ショッピングモール
神戸市立神戸ショッピングアーケード
神戸市立神戸女子ショッピングアーケード
神戸市立神戸ショッピングストリート
神戸市立神戸女子ショッピングストリート
神戸市立神戸ショッピングロード
神戸市立神戸女子ショッピングロード
神戸市立神戸ショッピングエリア
神戸市立神戸女子ショッピングエリア
神戸市立神戸ショッピングゾーン
神戸市立神戸女子ショッピングゾーン
神戸市立神戸ショッピングタウン
神戸市立神戸女子ショッピングタウン
神戸市立神戸ショッピングシティ
神戸市立神戸女子ショッピングシティ
神戸市立神戸ショッピングビレッジ
神戸市立神戸女子ショッピングビレッジ
神戸市立神戸ショッピングパーク
神戸市立神戸女子ショッピングパーク
神戸市立神戸ショッピングガーデン
神戸市立神戸女子ショッピングガーデン
神戸市立神戸ショッピングプラザ
神戸市立神戸女子ショッピングプラザ

竹泉のほこる味覚！

網焼ステーキ　肉のさしみ　野菜と肉のスープ

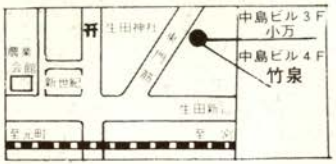
すてーき&どりんく

竹泉

営業時間　PM５：00～AM２：00
日曜・祭日は休ませていただきます

生田区東門筋中島ビル４F
TEL　33－３１３１

近　藤　正　実



HOOK フック東店

神戸市生田区栄町 I－5－3　TEL(078)32－3207～8

DRINK & SNACK スネカジリッ子

中山手通2丁目13
永晃ビル地下
TEL 39—8708

KOBE GUIDE

club ルイス

生田区下山手通2-29
コウベビル地下
TEL 39—5065

RESTAURANT

ROCKET

3-chome
Motomachi, KOBE
TEL 33-8880

KOBE GUIDE

フック東店

★美味な料理を賞でるのは現代人の楽しみである。美味な料理を賞でられるのは、コックの喜びでもある。店を飾るものは、料理の色合い、盛りつけでなく、それを味わい、拍手喝采してくれるお客様である。

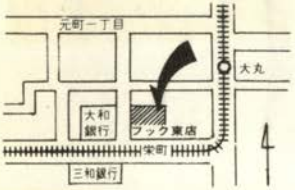
今月の"**フック東店**"は、最高のお客様で賑わった。

それは島津貴子御夫妻の訪問である。

そして、その席に、今日は、松本貿易社長の松本正三御一家の歓談を見た。東京芸大社会学の泰子さんの夏期休暇を機会に、甲南大社会学科の恵子さんが、ヨーロッパ27日の旅に出る心のこりを、この"**フック東店**"で神戸肉を食べながらの家族会議。

食欲旺盛なお嬢さん二人に、眼を細める松本さん御夫婦であった。

営業時間　AM10：30～AM 1 ：00　万国博の今年は年中無休です。



スネカジリッコ

★誰もが、それぞれに自分を愛するように、ほめられるとくすぐったい思いが、うれしさや照れさと共に湧き、欠点を指摘されると、わかってるのにとむくれたいような……とにかく神戸にいたいのです。

これが"**スネカジリッ子**"のママ・桂子さんが語る神戸観。なるほどと思う人が多い筈だ。

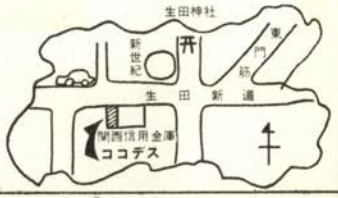
そんな神戸の中で、スナックとして最近は神戸以外の人が神戸を求めて訪ねてくる。まさしく神戸のスナックだ。何よりも、飲む人たちが、語る人たちが、自分たちの神戸を持ち続けられる場所でもある。

"**スネカジリッ子**"で神戸を知ろう。若いエネルギーを上品に発散し、前の世代とも共感できる場所を持とう。

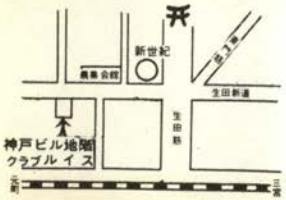
そのためにこそ、"**スネカジリッ子**"に行こう！

営業時間　PM 5 ：30～AM 1 ：00　第1・第3月曜日は休み

水割りG & G ¥ 300　ビール(小) ¥200　ミニチュアビン(W)¥500



ルイス



★街路に季節が訪れても、まだまだ季節を知らない人たちの溜り場がある。それは音と光がつくるスペースだ。

心から遊ぶことが、そこに集まる人たちに、その日、その時の季節感を与えている。

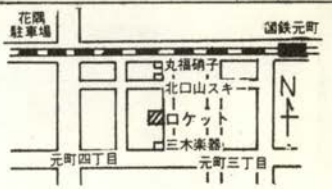
神戸ビル地階にあるクラブ"**ルイス**"のメロディアン・サイカラーも、一年を迎えて多くのルイスメンに、楽しい雰囲気をつくってきた。神戸ではじめて取り入れたハモンドの音声が、柔らかなトーンのソファに腰をかける人の心をなごやかに、時には踊りに誘ってくれる。

中央のゴーゴーステージから、超ミニのルイスガールズのゴーゴーのエネルギーが伝わってくる。

ハイクラスのクラブ"**ルイス**"をお手軽な料金で満喫できるのが何よりである。紫紺のフィーリングを充分にお楽しみ下さい。

日曜・祭日は休みます。

ロケット



★日本全国で共通のうまい店の見つけ方、それは食通のみが知っている路地のこじんまりした店を見つけることだ。ステーキは肉の仕入れと焼き加減に尽きるが、神戸肉のうまみを出せる店にめぐりあうと嬉しい。

元町３丁目、三木楽器の角を北に折れると、ミナト神戸のイメージにふさわしい神戸ステーキの店"**ロケット**"がある。ビーフフオンデューとステーキがメイン・ディッシュ。

The common way to find out a nice restauant all over the country. it is to look for a neat one in the lane which only authorities on taste know. The taste of Beef Steak depends on the way of buying in meat and the degree of roasting it. It is very pleasant to come across the restaurant which takes pride in the flavor of meat.

ROCKET. KOBE BEEF RESTAURANT, (3-chome, motomachi) can serve the best Beef Steak in KOBE. Beef Fondue and Beef Steak are maindishes in ROCKET.

ちょっと いま
小さなお部屋が ほしい！

そんなとき、バツグンに便利なのが、レンダールーム〈貸室〉〝レニア〟。麻雀に商談にささやかなご会食・スナックなど。社用私用にお気軽にご利用下さい。

生田神社東Y.M.C.A浜側ヒカリビル３階。

くわしくはお電話で――。

レンダールーム **レニア**

生田区中山手通２丁目38
光ビル３階
TEL 39－1497・1498